

フラッシュ型教材授業実践プロジェクト主催

フラッシュ型教材活用セミナー

札幌・福岡

仙台・富山

楽しくわかる!

明日から使える

フラッシュ型教材

【ご挨拶】

フラッシュ型教材とは、フラッシュ・カードのように、課題を瞬時に次々と提示するデジタル教材です。紙芝居のようなフラッシュ・カードは、これまでも授業の中で取り入れられてきましたが、このカードを活用した学習にICTの良さを加えることにより、ゲーム感覚で楽しく、集中して反復練習することができます。基礎学力の徹底に効果があるということで、大変注目されています。

本セミナーでは、現職の先生方によるフラッシュ型教材を活用した模擬授業や、パネルディスカッションを通して、フラッシュ型教材をの特長と、授業で活用する際のイメージを持っていただくことを目指します。

ぜひ、「翌日の授業で活用できる指導のヒント」を見つけてください。

2007年11月

フラッシュ型教材授業実践プロジェクト

リーダー 堀田 龍也



コーディネーター：
富山大学 人間発達科学部
高橋 純（准教授）

ご登壇者：

割石隆浩（北海道札幌市立新琴似緑小学校・教諭）
神林裕子（北海道札幌市立屯田南小学校・教諭）
小暮敦子（東京都三鷹市立大沢台小学校・教諭）

札幌	1月19日(土) 13:00 ~ 15:10	北海道自治労会館 3F 第一会議室 http://www.jjchiro-hokkaido.gr.jp/kaikan.html
----	---------------------------	--



会場までのアクセス ▶



後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会

セミナースケジュール

13:10 模擬授業&実践事例報告「模擬授業5連発！」

- 現職の先生方にフラッシュ型教材を活用した模擬授業および実践報告をしていただきます。

13:40 アピールタイム

- 現場の先生方や教育センター・教育委員会の先生方にとって役立つ情報をご紹介します。
お楽しみに。(財団法人 日本英語検定協会, アルプスシステムインテグレーション株式会社 ほか)

14:15 パネルディスカッション「フラッシュ型教材を活用した実践の可能性」

- セミナーを総括し、フラッシュ型教材の効果的な授業実践についてディスカッションします。



- 対象：小・中学校、教育センター、教育委員会のみなさま
- 協賛：チエル 株式会社
- 協力：アルプス システム インテグレーション株式会社、泉 株式会社、株式会社 旺文社、財団法人 日本英語検定協会、松下電器産業株式会社

- お申し込み **Web** または **FAX** にて
セミナー事務局（チエル 株式会社内）

● 参加無料 ●

<http://www.chieru.co.jp/news/flash-seminar.html>

フラッシュ型教材活用セミナー
—楽しくわかる！ 明日から使えるフラッシュ型教材—
FAX お申し込み用紙

フラッシュ型教材授業実践プロジェクト セミナー事務局（チエル株式会社内）

FAX番号：03-3748-9620

参加希望会場

※ 参加を希望する会場の
□にレを入れてください。

札幌（1月19日）

福岡（2月10日）

仙台（2月23日）

富山（3月15日）

お名前

職名

勤務先名

※ 勤務地の都道府県名
および勤務先名を
ご記入ください。

都道府県

ご連絡先

※ ()内の
どちらか一つに
○をつけてください。

TEL :

(ご自宅・学校)

FAX :

(ご自宅・学校)

E-mail :

参加申込をされた方の個人情報取扱いについて

- 本セミナーでは、協力企業であるチエル株式会社に参加申込事務局を委託しております。
- 本申込書に記載されている参加申込をされた方の個人情報はチエル株式会社にて管理いたします。
- 上記個人情報は、以下の目的の範囲でのみ利用するものといたします。
 - お問い合わせに対するご回答
 - 受講についてのご連絡、通知。受講名札の作成。